

発行／小諸市公民館  
編集／館報編集委員会  
〒384-0801  
長野県小諸市甲1275-2  
TEL 0267-23-8880  
FAX 0267-25-2224

No.862



10/19(火) 開催

『多肉植物の世界』

多肉植物の冬場の管理方法を学び、その後リトープスなどの寄せ植えを楽しみました。水のあげすぎに注意しましょう。



10/13(水) 開催

『話し方教室』

声の質や話し方で第一印象が大きく変わります。腹式呼吸で明るい声を手に入れましょう。腹式呼吸は自律神経も整えます。



10/22(金) 開催 こもろシニア教室

『ポールを使ったウォーキング』

ポールを使用してのストレッチとウォーキングを面白く教えていただきました。学級生からは「ためになった」「楽しかった」という声が聞こえてきました。

❖内容

- p.16~18 公民館まつり 特集
- p.19 『ぼくとわたしの作品』 (小諸東中学校)
- p.20 『みんなの宝物』 (小諸高原美術館・白鳥映雪館/小山敬三美術館)

- p.21 【お知らせ】小諸市民美術展 作品募集
- 12・1月公民館講座のご案内
- 12月小諸市文化会館スケジュールほか

編集委員 宮沢 芳文

クリスマススイブの夜、妻がケーキで子どもたちの気を引き付けている間に、私はそつと勝手口から外へ、隠しておいたプレゼントを玄関に置き、ピンポンと同時にダッシュで戻る。「誰か来たよ」の妻の誘いに子どもたちは玄関へ、プレゼントを抱えて満面の笑み。：我が家のサンタさん登場シーンです。

18年ほど前、どこにでもついてきてくれる末っ子娘が小学3年生の頃。休日2時間ほどの仕事を片付けに職場につれて行った時のこと。折り紙で遊んでいたはずの娘が、私の机の引き出しを探りはじめて見つけたもの、それは娘の書いた『サンタさんへの手紙』：私の宝物、ここなら見つからないはずだったのに。「どうしてここにあるの：やっぱり」、小学3年生にもなるトクラスの友達から、「サンタさんなんていないんだよ、あれはお父さんとお母さんなんだよ」という話題が出始める頃。娘の抱いていた疑問に答えが出た瞬間でした。

以来『サンタさんへの手紙』と『クリスマスピンポンダッシュ』は終わりましたが、その後も変わらないもの、それはプレゼントを抱えた子どもたちの満面の笑み。：私たち夫婦にとって最高の贈り物です。



# 公民館まつり

10月9日(土)・10日(日)の両日、第37回公民館まつりが3年ぶりに開催されました。小諸もろもろ塾体験コーナー、作品展示、ホール発表などが行われ、大勢の皆様にご来場いただきました。編集委員の取材により、一部紹介します。



体育館内ほぼ中央の掲示板に、「はじめのいっぽ」の大ポスターが2枚。展示したのは、「小諸登校拒否・不登校・ひきこもりについて学ぶ親の会」です。学校に行こうと思っても行かれない子どもたち・仕事に行こうと思っても行かない青年たちの心に寄り添い、彼らの必死な思いを受け止めるため、「親どうしが学び合ひましょう、つながり合ひましょう。」と呼びかけています。

リーフレットには、人として親としての姿勢が示唆されています。「愛をもって子どもを尊ぶ・子どもを信じて待つ・最良の伴走者となる・学力は本人が学ぼうと思った時に取り戻すことができる。」

久しぶりの公民館まつり。「小諸もろもろ塾」のこども服交換会を取材しました。

床に敷いたシートの上に広げられた沢山の子ども服。参加した皆さん、熱心に服を見繕っていました。小さくなり着られなくなった子ども服を持ち寄り、必要な人が頂いていくシステム(持つてこなくても頂くだけでも良いそうです)。環境にもお財布にも優しい催しだなと感じました。

「このことは知らなかったけど、公民館に来たらやってた。交換する服がなくても良いといわれたので」とマイバツクにぎゅっ服を詰めたおばあちゃん。お孫さんの物だそうです。「とっても助かります。子どもはすぐ大きくなってしまうので」と子ども連れのお母さん。皆さんとても満足そうでした。

主催のTrui Bank KOMO2の方にお聞きすると、公民館まつりで開催するのは3回目。新型コロナウイルス感染拡大前は市の子どもセンター「こもロジ」で2ヶ月に1回ほど開催し、いつも100名近くのお母さんたちが集まっていたという事でした。早く「こもロジ」で開催出来るようになったらいいですね。

他にヨーガ・太極拳・廃油石鹸作りにお邪魔しました。

皆さん3年ぶりに開催された公民館まつりを楽しんでいる様子です。来年は、あなたも「小諸もろもろ塾」に参加してみませんか。

依田 和子



公民館まつり2日目、午前の部の小諸麵棒会による「そば打ち体験」を取材しました。会の皆さんは、平成10年から続く公民館教室の出身で現在21名いるそうです。

体験の皆さんは、会長の高橋さんの楽しい語り口による説明を聞きながら、実技を真剣なまなざしで見つめていました。その後、会員の方によるマンツーマン指導で各自そば打ち体験が始まりました。初めての方やYouTubeの動画で予習された方、小さいお子さん連れのご家族などが、ボウルで蕎麦粉とつなぎ粉を水回しして、こねて、麵棒で伸ばした後、蕎麦切りをして1時間半程の体験が終了しました。

そのお蕎麦は各自持ち帰りましたのでその夜は自分で打った美味しいお蕎麦を召し上がったことでしょう。

取材を終え、信州人として他県の来客に自分で打ったお蕎麦をふるまえば格好いいなと思いました。



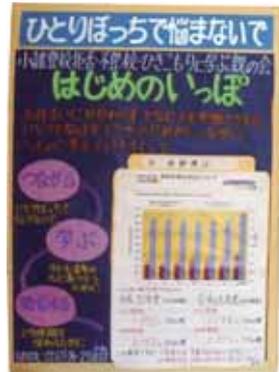
3年ぶりに開催された「公民館まつり」は、また格別感慨深いものがありました。コロナ禍で多くの団体やサークル活動が制限されている中においても、「ホール発表」や「作品展示」をされている方々の人生の豊かさを感じました。



体育館での作品展示の中で、私は「洋裁同好会」や「和服リフォームの会」の作品の前で暫し足を止めました。自分がまだ子どもの頃、母親も「洋裁」が趣味だったことを思い出したのです。居間の隅で「型紙」に合わせて「布地」を裁断し、ミシンをかけている姿が目につかなくて嬉しかったです。家族旅行の時などには兄妹でお揃いの格好で出掛けたことも良い思い出です。

このような時代において、「趣味に没頭できる」というのはとても羨ましいことにも思えました。

楚山 伸二



教育で何より重要なことは人間としての力をつぶさないこと……どの子も自分らしく生きられるよう、見守る親たちが独りぼっちで悩むことがないよう、同じ立場の親どうしが交流し支え合うことをすすめています。

もう一つのリーフレットは、「登校拒否・不登校問題全国連絡会」のもので、苦しむ子どもたちを見守る親たちが、学び合えるよう、語り合えるよう、もっと交流を深められるようとの願いから、95年全国連絡会が結成され、96年から毎年8月に「全国のつどい」を開催しています。

「はじめのいっぽ即ち向上の一步」、私はそう信じます。

小宮山 季



小諸もろもろ塾・ハープ体験にお邪魔しました。

体験コーナーは「バスソルト作り」「アロマスプレー作り」「ハーバリウム作り」「筆文字・色紙にあなたの名前を書かせて下さい」がありました。ハープ体験を訪れるのは女性が多いですね。

元気な可愛い小学校低学年の2人の女の子も訪れてくれました。2人は別々の体験コーナーを希望し、アロマスプレー作りとハーバリウム（瓶の中にお花を可愛く飾ってみよう）に挑戦していました。スタッフの皆さんに指導して頂いて完成すると「ヤッター」という歓声に体験コーナーに参加された皆さんから拍手が沸き起こりました。

世界でただひとつの素敵なアロマスプレーとハーバリウムが完成しました。ハープのある暮らし、素敵ですね。生活のなかに取り入れたいくなりました。

大矢 文子



午後の部は小諸マジック同好会による「マジック体験」を取材しました。教室は平成18年頃の公民館の募集から現在まで続いているようで、プロマジシャンのブラックサタンさんを先生に6名の会員さんたちで第3木曜日の夜練習されているそうです。コロナ禍の前はいろんな集まりにお声をかけてもらいマジックを披露されていたそうですが、今はなかなか難しいとのこと。練習も不足気味の中、披露できる喜びと不安の中マジックが始まりました。

各マジシャンが練習したマジックを披露しましたが、やはり久々のせいかわが消えるマジックで最初にコップから水をこぼしてしまったり、トランプのマジックではテーブルに置いたトランプが落ちたりとハプニングもある中、見事上手くいったときは拍手喝采でした。トリはブラックサタン先生登場。スカーフやロープ、トランプのマジックは見事な手さばきで近くで見てもトリックはわかりませんでしたが、やはり定番ながら鳩が出るのは不思議でした。最後に観客みんな、破いたチラシが元に戻るマジックの講習を受けて1時間半の楽しい体験は終了しました。

来年はコロナ禍も終息して、たくさんマジックを披露できるようにしたいと思います。簡単なものでもいいから余興でマジックが出来る楽しそうです。この日教わったチラシマジック、どこかで披露したいです。

高城 俊秀





ホール発表初日、午前の部の中学生による演劇が中止になったのは残念でしたが、3年ぶりの開催となった初日のホール発表は出演者、演目の紹介の後、こもる銭太鼓の3曲の演奏で始まり、その後、ほほえみマジックの3人によるハンカチ、リング、花などを使ったマジックショーと続き、小諸民謡こまくさ会、小諸馬子唄保存会は、望月小唄、小諸馬子唄など地域の民謡、のぞみ会、さくら会、めぐみ会、若柳会の舞踊と様々なジャンルのステージでした。

皆さんコロナ禍で練習時間の制限があったと思いますが、日頃の練習の成果を発揮出来たのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症予防対策で、各演目ごとに換気を行いながら最後は舞踊の出演4団体全員による踊りで、会場のお客さんも手拍子で参加し、公民館まつりを楽しんでいました。

小山田悦栄



公民館まつり2日目・午前の部は、大正琴、トランペットの各演奏、小諸太極拳同好会による演技、6組のフラダンスなど全部で9団体の皆さんの発表が行われました。

大正琴は「釜山港へ帰れ」など2曲の演奏が行われ、続く男女二人のトランペットは、加山雄三さんのヒット曲の演奏が行われました。演奏途中でバックの音楽装置に不具合が発生。バック音楽無しでトランペットの奏でる澄み渡った音色が会場に響き渡り、観客に感動を与えました。

太極拳はストレス軽減やリラクセスが出来ることから、健康増進に効果があると言われており、演技を見て始めたいと思われた方もいたのではないかと思います。

また、各組のフラダンスの皆さんは、コロナ禍で練習時間の制限があったと思いますが、南国を思わせるような華やかな衣装を纏い、南国のリズムに合わせたダンスは観客を魅了しました。

小田中 衛



公民館まつり2日目・午後の部は小諸フォークダンスクラブの華麗なフォークダンスで始まりました。体中に響き渡る迫力の御影天領太鼓は圧巻でした。今回の曲目は『水の恵み』とのこと。発足当時の御影公民館長の土屋さんにお話しを伺うことができました。

御影天領太鼓は平成18年に御影道祖神祭りを盛り上げるため、土屋さんの発案でスタートしました。名前は公募により『天領の里・御影』にふさわしいと決まりました。その後、公民館まつりやその他イベント、各地域のお祭りなどでその腕前を披露して、好評を得ているとのことでした。

太鼓に続き、Kパフォーミングアーツのポップで切れのあるキッズ&ジュニアのダンスパフォーマンス、最後は土屋芳美ジャズダンス教室の艶やかで切れ抜群のジャズダンスが、本年度の公民館まつりホール発表の締めを飾ってくれました。

宮澤 芳文





小諸東中学校

『明るい未来を願って』

生徒会女子副会長

コロナ特別委員会委員長

高橋 みう



昨年からのコロナウイルスの流行で、私たちの学校生活は激変しました。

学校行事の中止、部活動の制限など、初めての経験が多く、戸惑うばかりの一年でした。

そこで、小諸東中学校生徒会では、新たに「コロナ特別

委員会」を設置し、その委員長を私が務めることになりました。

委員会の主な活動としては、保健委員会と協力し、コロナ感染予防のポスターを作成したり、地域の感染状況を示したりして、全校の皆さんにコ

ロナ感染予防を呼びかけています。その成果として、今ではマスク着用や、アルコール消毒の徹底を一人一人が自ら進んで行うようになり、コロナウイルスへの意識を高めることができています。

また、人権委員会と協力し



て、前期人権旬間にコロナ差別防止のため「シトラスリボンプロジェクト」の活動を説明しました。

私はコロナ

特別委員会の委員長になる

まで、シトラスリボンプロ

ジェクトについて全く知りま

せんでした。委員長になり、

詳しく調べてみて、愛媛県か

ら広がった素晴らしい活動で

あるということを知りました。

運動のシンボルであるシト

ラスリボンの三つの輪は、地

域、家庭、職場もしくは学校

を表しており、この三つの場

所は安心できる場所であるよ

うにという思いが込められて

います。このシトラスリボン

を身に付けることで、コロナ

ウイルスによる差別や偏見を

なくしていこうという思いを、

目に見える形で発信してい

ることができるのです。

今後、実際に全校でシトラ

スリボンを作り、身に付けて

「私たちはコロナ差別を絶対

にしません」という意思を示

していきたくて考えています。

コロナウイルスの影響によ

り、文化祭が延期になるなど、

様々な変更がありました。が、

生徒会役員をはじめ、全校の

皆さんが臨機応変に対応して

くださり、私たちは無事に文

化祭を開催することができま

した。

これからも、コロナウイル

スにより多くの制限があるこ

とでしよう。しかし、私たち

が力を合わせれば、どんな困

難も乗り越えられると信じて

います。

いつか明るい未来が来るこ

とを願い、私ができることは

何かを考え、全校の皆さんと

協力して、楽しい中学校生活

が送れるように頑張ってい

たいと思います。



シトラスリボン

# みんなの宝物



## 小諸高原美術館・白鳥映雪館

### 「夜の湖」

第二次世界大戦後、海外から欧米の文化が押し寄せ、「日本画滅亡論」が叫ばれていました。従来の古典的な絵画表現の日本画が淘汰されるといわれた時代です。当時の日本画家たちは、欧米の油彩画にも負けない新たな表現を模索し、白鳥映雪画伯もその中の一人でした。映雪画伯の師である伊東深水は、エジプ

トの壁画を彷彿とさせる重厚な質感、色味によって新たな表現による作品を発表しました。映雪画伯も師匠の背を見ながら、青と白の2色を基軸に「夜の湖」を昭和30年、第11回日展に出品しました。この時、白鳥映雪画伯は43歳。この頃、画伯は踊り子をテーマに制作を続けていました。谷桃子バレエ研究所へ通ってスケッチをしたのもこの時期です。この作品の特色としては、スポットライトの差し込む光をイメージした幾何学的な画面構成があげられます。



青味のかかったフットライトを浴びて、バレエ「白鳥の湖」のオデット姫が踊る図で、翼を広げて白鳥を襲う悪魔の黒鳥が背景に描かれています。寒色の色面と黒鳥の黒いシルエットが画面内で見事に調和された映雪若かりし頃の代表作です。本作品は日展入選となり、週刊「サンデー毎日」の表紙絵に採用されました。この作品で、画伯は、「自身の新たな作風が、時代の潮流に込められると確信でき、画業道に道が開けた」と語っています。

#### 【開館時間】

9：00～17：00  
※12～3月は9：00～16：00

#### 【休館日】

月曜日、12/29～1/3  
※月曜日が祝日の場合、翌日

小諸高原美術館・白鳥映雪館  
☎0267-26-2070



白鳥映雪館

## 小山敬三美術館

### 「展示室の仕切り」



小山敬三美術館は建築家の村野藤吾（むらのとうご）1918年（文化勲章受章）の設計です。村野は、小山敬三から設計の依頼を受けた際、小山の絵と、周辺の雰囲気とを調和した建物にすることを考えました。地形を生かすために土地の傾斜をそのまま利用した結果、展示室の床は奥に向かってゆるやかに下る斜面になりました。これには村野の意図もあって、天井を水平にすることで、奥の壁面が高くなり、大きな絵を掛

けられるようになっていきます。こうしてできた展示室は柔らかな曲面が組み合わされた空間になっていて、入り口から入った人を誘い入れるような視覚効果を持っています。この展示室に村野は絵の前に作品保護のためにロープで仕切りを作りました。気づかれる方はほとんどいないのですが、実はこの仕切りに使われている支柱は傾斜した床に置いた時、柱が鉛直になるようにわざと傾けて台に取り付けているのです。細部を大切にしている村野らしい心使いですが、文字どおり首をかしげながら支柱を並べる館のスタッフは大変です。（敬称略）



#### 【開館時間】

9：00～17：00  
※12～3月は9：00～16：00

#### 【休館日】

12/29～1/3  
※12～3月第2週まで毎週水曜日  
小山敬三美術館 ☎0267-22-3428

## 第23回 小諸市民美術展及び作品募集

小諸地域の美術の振興と会員相互の親睦を図り、地方文化の向上に寄与することを目的に、小諸市民美術展を開催します。多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。



美術展

出品要項

会 期 令和4年3月2日(水)～6日(日)

9:00～17:00 (最終日は15:00まで)

会 場 乙女湖体育館 (小諸市文化センター内)

※ご来場時は体調管理・マスク着用・連絡先の記入にご協力ください。

I 募集作品 日本画・水墨画・水彩画・油絵・押し花・木彫・切り絵  
シャドーボックス・版画・その他

II 募集資格 小諸市在住者または、市内小・中・高校に通う児童・生徒  
市内を拠点に活動している美術団体

III 申込み期限 令和4年2月10日(木) 必着

【作品搬入・展示】 3月1日(火) 13:00～

【作品搬出・片付け】 3月6日(日) 15:30～



▼問い合わせ先 小諸市文化協会 美術部門担当 土屋 和人 TEL 090-5531-4953  
小諸市文化協会事務局 TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224

### — 12・1月公民館講座 —

受付は平日9時～17時。申込み多数の場合は初心者優先とし公民館にて責任抽選いたします。また、申込み少数の場合や新型コロナウイルス感染拡大防止により講座が中止や変更になることがあります。



### 親子で挑戦！ヘクセンハウス

～ お菓子の家作り ～

クッキー生地を使っての家作り。型紙どおりに生地を切って焼いて、お家を組み立てよう！

【講師】 福島 弥生 (福島さん家のパン)

◇日 時 12/18(土)  
10:00～14:00

◇場 所 料理教室

◇定 員 親子6組

◇参加費 一組700円

◆申 込 11/29(月)～12/8(水)



### はじめてのスマホ講座

電話とメールだけではもったいない！  
もっと使いこなしたい方向けの講座

【講師】 こもろ情報ひろば

◇日 時 1/21(金)  
10:00～11:30

◇場 所 第一講義室

◇定 員 10名

◇参加費 無料

◆申 込 12/14(火)～27(日)



 **年末年始のお知らせ**  
12月29日(水)から1月3日(月)まで  
**全館休館**となります。

**「こんにちは」文化センターです！**  
いよいよ今年も残すところ1ヶ月となりました。何か気忙しいですね。  
さて、文化会館では12月から3月末までホール舞台装置とホール側トイレの改修工事を行います。ホール、トイレ及び練習室が使用できなくなります。ご不便をおかけしますがよろしくお願いします。

### 12月 小諸市文化会館スケジュール

日・曜	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
1(水)	13:30	小諸市介護予防ささえ愛サポーター研修	小諸市 高齢福祉課	0267-22-1700
4(土)	10:00	米・食味分析鑑定コンクール	小諸市農林課	0267-22-1700

### 受付開始日

【公民館・こもろ女性の家】 令和4年2月利用 予約12月1日(水)  
【貸出備品含む】  
【乙女湖体育館】 令和4年6月利用 予約12月1日(水)  
【文化会館】 令和4年12月利用 予約12月1日(水)

